

谷川道雄中国史論集 全二巻 内容目次

上巻

口 絵 (谷川先生のお写真)

凡 例

序に代えて——『谷川道雄中国史論集』上・下所収の四十篇を読む——

森 正夫

I

北魏研究の方法と課題

六朝社会史をめぐる最近の研究動向——分期問題と共同体論——

中国士大夫階級と地域社会

「中国中世」再考

二つの豪族共同体論——堀敏一「魏晋南北朝時代の『村』をめぐる」を読む——

「共同体」論と六朝郷里社会——中村圭爾氏の疑念に答える——

中国社会の共同性について

中国前近代社会の基本構造試論

中国史における世界性と固有性——六朝時代を事例として——

中国国家論序説——階級と共同体——

II

北朝郷兵再論——波多野教授の軍閥研究に寄せて——

六朝貴族における学問の意味

六朝・隋唐社会の史的 성격より見た「東アジア世界」問題

東アジア世界形成期の史的構造——冊封体制を中心として——

六朝時代における都市と農村の対立関係について——山東貴族の居住地問題からの接近——

自営農民と国家との共同体的関係——北魏の農業政策を素材として——

後漢末・魏晋時代の遼西と遼東——時代の転換と辺境社会——

六朝時代の宗族——近世宗族との比較において——

六朝貴族における人格と身体

六朝貴族の家政について

索引

下巻

口 絵 (谷川先生のお写真)
凡 例

III

隋唐帝国をどう考えるか

唐代の藩鎮について——浙西の場合——

唐代の職田制とその克服

「安史の乱」の性格について

龐勛の乱について

武后朝末年より玄宗朝初年にいたる政争について——唐代貴族制研究への一視角——

〔書評〕 谷霽光著 『府兵制度考釈』

唐末の諸叛乱の性格

隋唐政治史に関する二三の問題——とくに古代末期説をめぐって——

〔書評〕 布目潮瀨・栗原益男共著 『隋唐帝国』 (「中国の歴史」四)

河朔三鎮における節度使権力の性格

北朝末～五代の義兄弟結合について

西魏・北周・隋・唐政権と府兵制

七～十三世紀内陸アジア君主権の研究

貞観政風の一研究

則天武后の明堂

河朔三鎮における藩帥の承継について

隋代の通守について

隋末の内乱と民衆——剽掠と自衛——

顔真卿と李粵

付録 谷川先生著作目録

あとがき

索引

▼上巻：ISBN978-4-7629-6583-8 C3322

下巻：ISBN978-4-7629-6584-5 C3322